



陸内協の概要

一般社団法人 日本陸用内燃機関協会
Japan Land Engine Manufacturers Association

陸内協は広く陸用に使用されているエンジンを作るメーカーの団体です。

豊かで快適な生活を



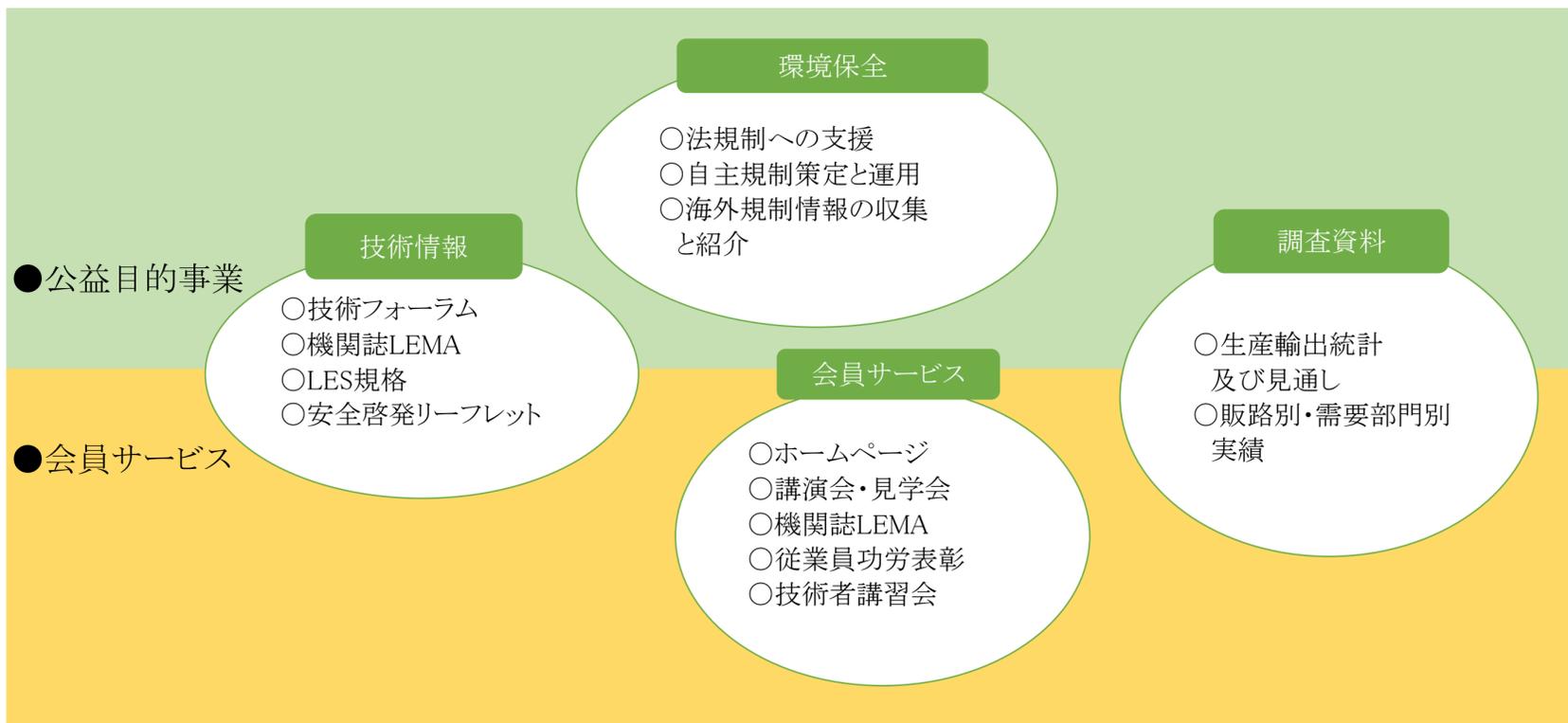
(一社) 日本陸用内燃機関協会は小形汎用エンジンの排出ガス中の有害物質を低減する自主規制に取り組んでいます。このラベルは当協会が定めた小形汎用エンジン排出ガス自主規制に適合していることを示しています。

□沿革

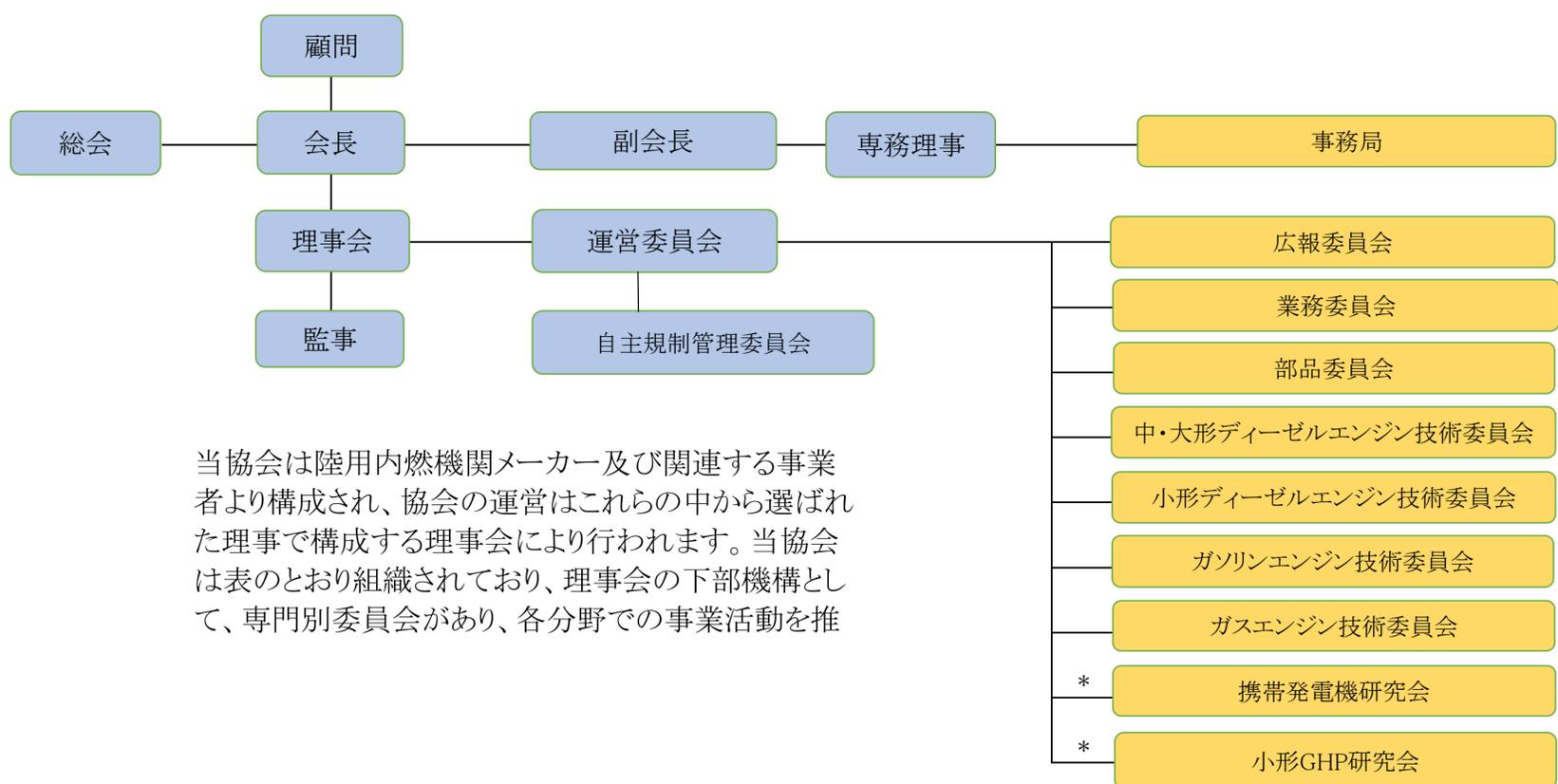
当協会は、1948年(昭和23年)5月1日、自動車、鉄道車両を除く陸用エンジンのメーカーを主体に関連の部品メーカーと共に、業界の健全な発展と最新技術の開発を図り、合わせて関連する諸製造業界の発展にも寄与することを目的として、会員組織の「陸用内燃機関協会」として設立されました。そして、1965年(昭和40年)11月には、それまでの活動成果が認められて、社団法人としての認可を受けました。更に、国内だけでなく、米国、欧州、中国を含む国際的な活動に、わが国を代表する製造事業者団体として参加しています。1999年2月に名称を「社団法人 陸用内燃機関協会」から「社団法人 日本陸用内燃機関協会」へと変更、更に2012年4月、国の新公益法人制度にのっとり、「一般社団法人 日本陸用内燃機関協会」として再編し、今日に至っております。

□主な事業

本会は、陸用内燃機関に関する生産、需要、貿易、流通及び技術の調査研究等を通じ、陸用内燃機関産業の技術の発展、向上と環境の保全を図り、もって我が国経済の発展と国民生活の向上に寄与するとともに広く世界に貢献することを目的としております。



□組織



当協会は陸用内燃機関メーカー及び関連する事業者より構成され、協会の運営はこれらの中から選ばれた理事で構成する理事会により行われます。当協会は表のとおり組織されており、理事会の下部機構として、専門別委員会があり、各分野での事業活動を推

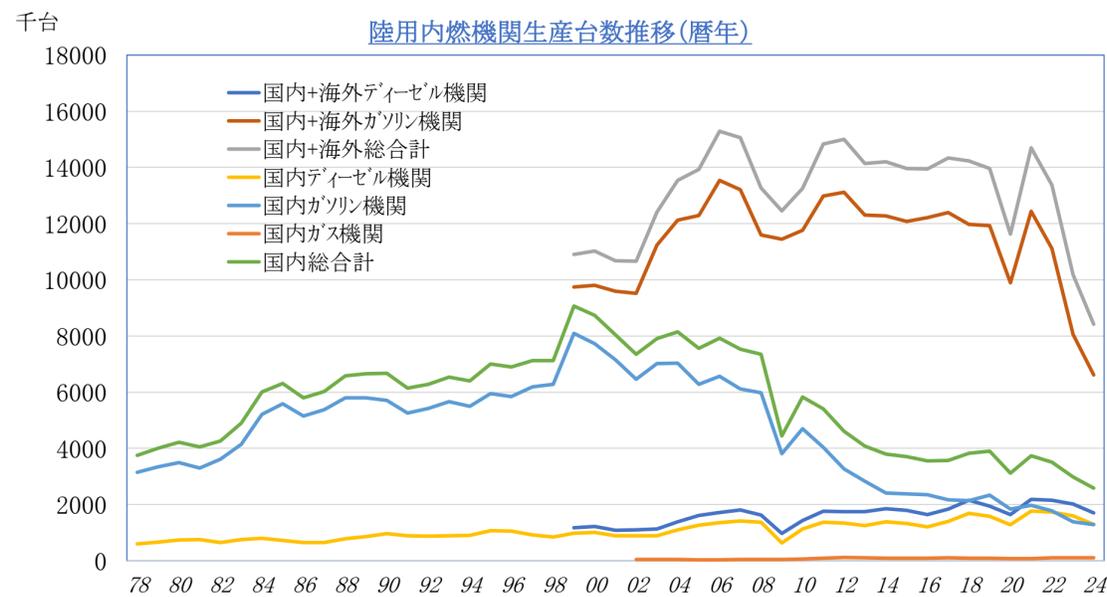
*印の委員会は特別に設置された委員会

□2025年度 主な行事と活動

4月 生産・輸出当初見通し、自主規制実績、機関誌LEMA	10月 理事会、生産・輸出中間見通し、機関誌LEMA
5月 理事会、定時総会、従業員功労表彰	11月 臨時総会
6月 技術者講習会	12月
7月 機関誌LEMA、販路別・需要部門別統計	1月 賀詞交歓会、機関誌LEMA
8月	2月 講演会
9月 技術フォーラム	3月 理事会

□業界の動向

技術の進歩と市場規模の拡大にささえられ、会員各社の生産するエンジンは0.5馬力級の空冷ガソリンエンジンから10,000馬力級の水冷ディーゼルエンジンに至るまで広範囲にわたっており、生産量も逐次増加しており、2006年には国内生産台数795万台、海外生産を含めると1,529万台となりました。その後、米国の金融危機により2009年には1,246万台と一旦大きく減少しましたが、2010年から回復の兆しが見えはじめ、2012年には1,500万台まで回復。その後は多少の増減はあるものの1,400万台で推移しておりました。2020年は新型コロナウイルスの影響もあり、1,163万台と大きく落ち込み、2021年に1,400万台レベルに回復するも、その後の世界的な市況の悪化により、2024年には1,000万台を切る842万台に留まった。これらのエンジンは農林機械、建設機械、運搬荷役機械、発電機、産業機械等に搭載され、国内外で多くの人々に使用され高い評価を受けております。

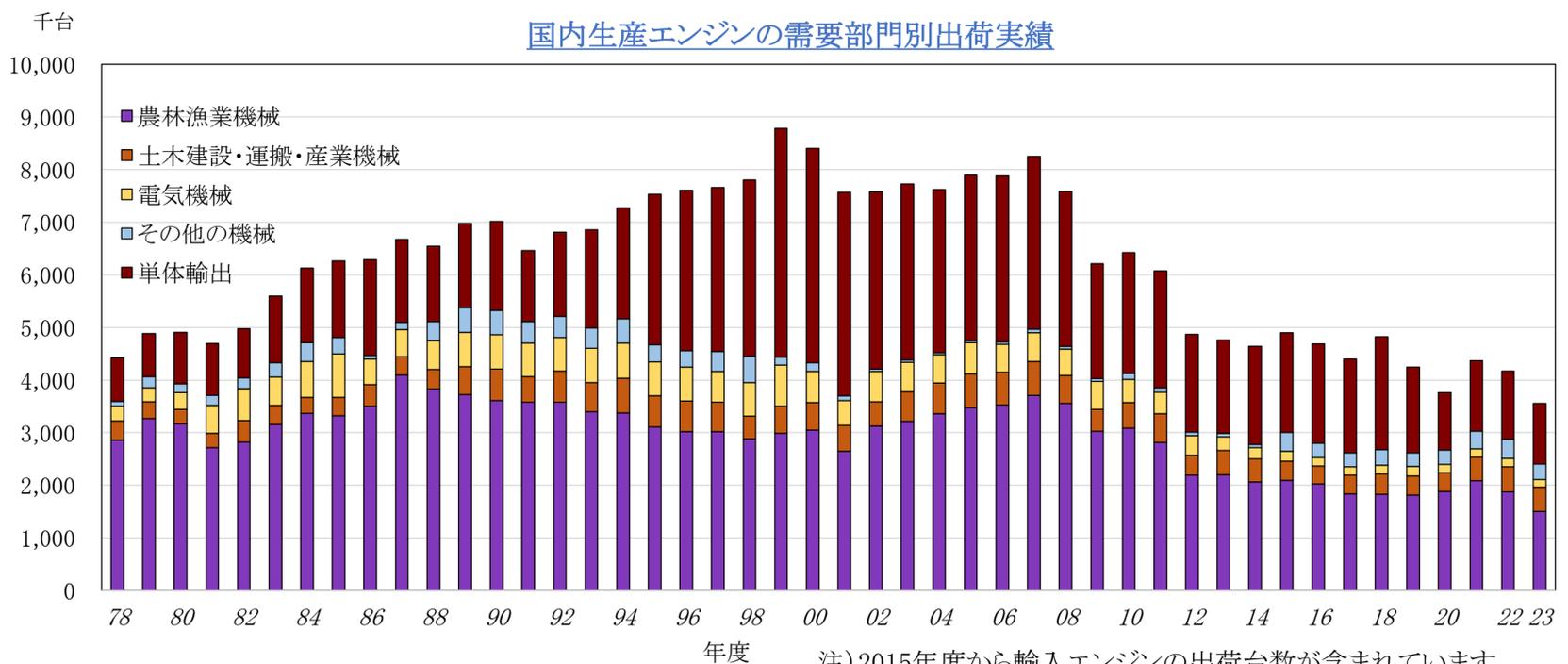


調査開始以降、第1次石油危機直後の1975年を除いて1990年まで一貫して長期成長のトレンドを歩んできました。1990年代には国内市場が成熟化し、輸出中心の海外需要開拓局面に入り、ガソリンエンジンについて2000年以降海外生産が増加し、国内生産は減少しています。2009年から総海外生産台数が国内生産を上回るようになりました。直近の2024年には、海外生産比率は68%となり、中でもガソリンエンジンは81%が海外生産となっています。なお、2003年より海外生産台数を含めた生産台数をグラ

※海外生産分の集計を開始した99年以降、KD分は国内生産分より除外しております。

<用途>

産業の各分野で陸用内燃機関がどのように使われ活躍しているか、幾つかの例をご紹介します。これらのエンジンは、ガソリン、灯油、軽油、ガス、LPG等の燃料を使用しています。



注) 2015年度から輸入エンジンの出荷台数が含まれています

<機械に搭載されるエンジンの種類>

用途	主な機械	エンジンの種類			
		ガソリンエンジン		ディーゼルエンジン	ガスエンジン
		2ストローク	4ストローク		
農林機械 林業機械	刈払機、チェーンソー、背負動力散布機	○	○		
	歩行形トラクタ、管理作業機、田植機	○	○	○	○
	セット動噴				
	バインダ、コンバイン		○	○	
建設機械 産業車両	乗用形トラクタ		○	○	
	ランマー	○	○	○	
	プレートコンパクタ、振動ローラ				
	コンクリートカッタ	○	○	○	
	ブルドーザー、油圧ショベル、ホイールローダ		○	○	
	アスファルトフィニッシャー、運搬機				
	水ポンプ、コンプレッサ	○	○	○	
電気機械	フォークリフト				
	除雪車、軌道保線車		○	○	○
	携帯発電機、エンジンウエルダー	○	○	○	○
	可搬形発電機		○	○	○
その他 レジャー機器等	定置式発電機、コージェネレーション			○	○
	芝刈り機、ゴルフカー、レーシングカート	○	○		
	スポーツカート、遊園地乗物				
	スノーモービル	○	○		
GHP(ガスヒートポンプ)					○

注)陸用エンジンが搭載されている一般的な機械の用途と作業機械名を記載しておりますが、用途区分に関しましては統計区分(経済産業省の区分または当協会の区分)と異なる作業機械がありますのでご了承ください。

□会員リスト(50音順)

●正会員(40社)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------|
| (株)IHI原動機 | JFEエンジニアリング(株) | 本田技研工業(株) |
| 飯田電機工業(株) | スターテック工業(株) | ボッシュ(株) |
| いすゞ自動車(株) | (株)スチール | (株)丸山製作所 |
| 井関農機(株) | 大同メタル工業(株) | 三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株) |
| (株)Willbe | ダイハツディーゼル(株) | ヤマハモーターパワープロダクツ(株) |
| 臼井国際産業(株) | TPR(株) | (株)やまびこ |
| ウッドワード・ジャパン(同) | テネコジャパン(株) | ヤンマーホールディングス(株) |
| エヌ・イー ケムキャット(株) | (株)デンソー | ユミコア日本触媒(株) |
| (株)小野測器 | 東京濾器(株) | リケンNPR(株) |
| カワサキモータース(株) | トーハツ(株) | YGKエンジニアリング(同) |
| キャタピラー・ジャパン(同) | (株)豊田自動織機 | |
| (株)クボタ | 日本ガイシ(株) | |
| (株)工研社 | 日本特殊陶業(株) | |
| (株)小松製作所 | パーソルクロステクノロジー(株) | |
| 澤藤電機(株) | (株)堀場製作所 | |

●賛助会員(23社2団体)

- | | | |
|------------------|------------------------------|-------------------------|
| IAV(株) | (株)G&ECO | ハスクバーナ・ゼノア(株) |
| (株)アイシン | スカニアジャパン(株) | パナソニック(株) |
| (株)AIRMAN | (株)ダイシン | ハルターマン・カーレス・ジャパン(同) |
| エフ・イー・ヴィ・ジャパン(株) | デンヨー(株) | (株)モトリティ |
| カミンズジャパン(株) | 日本キャタピラー(同) | Monko(同)(HIDRIAコンサルタント) |
| (株)ギオン | (株)橋本屋 | UDトラックス(株) |
| (株)キャタラー | フジオーゼックス(株) | ユニオンマシナリ(株) |
| (株)コスモス・コーポレーション | (一財)コージェネレーション・エネルギー高度利用センター | |
| サクラ工業(株) | (一社)日本内燃力発電設備協会 | |

詳しくはホームページをご覧ください。

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-37 千代田ビル 2階 E-mail:info@lema.or.jp

www.lema.or.jp

陸内協

検索

